

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年5月11日		記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	企画部		課名	相模湖町地域自治区事務所地域振興課	課長名	榎本 昭雄
平成19年度部名	市民活力推進部		課名	相模湖町地域自治区事務所	課長名	榎本 昭雄
事務事業名	防災資機材整備費					
予算上の事務事業名	防災資機材整備費					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	23110	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします					
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり					
施策名	第1施策 災害に強い都市基盤の整備					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	災害対策基本法 相模原市地域防災計画 相模湖町地域防災計画 新市まちづくり計画					
3 個別計画の概要				概要		
計画名	相模原市防災計画			防災備蓄倉庫・資機材整備事業		
計画年次	昭和39	年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					
大規模災害に備え、防災備蓄倉庫の食糧、資機材の整備をするもの					(2) 対象(誰、何)	
					市民一般	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<ul style="list-style-type: none"> ・アルファ米の購入・・・600個 ・毛布・・・80組 ・災害用トイレ・・・1台 ・総合防災訓練の地区会場(内郷)にて当該年度にて保存年限を過ぎるアルファ米を、訓練のなかで炊飯した。 						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	他市においても、防災備蓄倉庫を有している					
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	1,040	1,028	1,028	
一般財源	0	0	1,040	1,028	1,028	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	320	320	320	
事業コスト合計	0	0	1,360	1,348	1,348	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	防災資機材整備費			対象名称 と単位	1件	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	1,040	1,028	1,028	
対 象 数	0	0	1	1	1	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	1,040,000	1,028,000	1,028,000	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.99	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	食糧備蓄個数を年1000個増やす	指標式と指標の説明	前年備蓄数 + 1000 - 消費期限切れ分（個）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	7,110.0		
目標	0.0	0.0	7,100.0	8,100.0	9,100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.1		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	食糧備蓄率を年10パーセント引き上げる	指標式と指標の説明	食糧（個数）÷相模湖町域人口×100（率）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	69.2		
目標	0.0	0.0	70.0	80.0	90.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		・食糧備蓄量においては、旧町の防災基本計画にて具体的数値目標は設定されていないものの、まず第一目標として全町民一食分程度の食糧の確保を目指す。 ・なお、今後の数値目標については、新相模原市総合防災計画に基づき実施していきたい。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
・保存年限を過ぎようとする食糧については、総合防災訓練等の場にて使用していきたい。 ・食糧と併せ、発電機やガソリン缶等の備品整備にも着手していきたい。			・防災主管課へ管理を早急に引き継ぎ、全市的な管理を要する。また、各地域自治区事務所で購入するより、全市的に購入したほうがコスト削減にもつながる。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		地域防災計画の見直しの中で、検討を図ること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			